



みんなで支える認知症



いま、わたしたちには、なにができるだろう？

小さな輪を広げることで
これからも
住み慣れた地域で暮らせる
人がたくさんいます



富田林市では

M みんな E 笑顔と E 笑顔で T 手をつなごう
『MEET★富田林』を
スローガンに認知症普及啓発に取り組んでいます

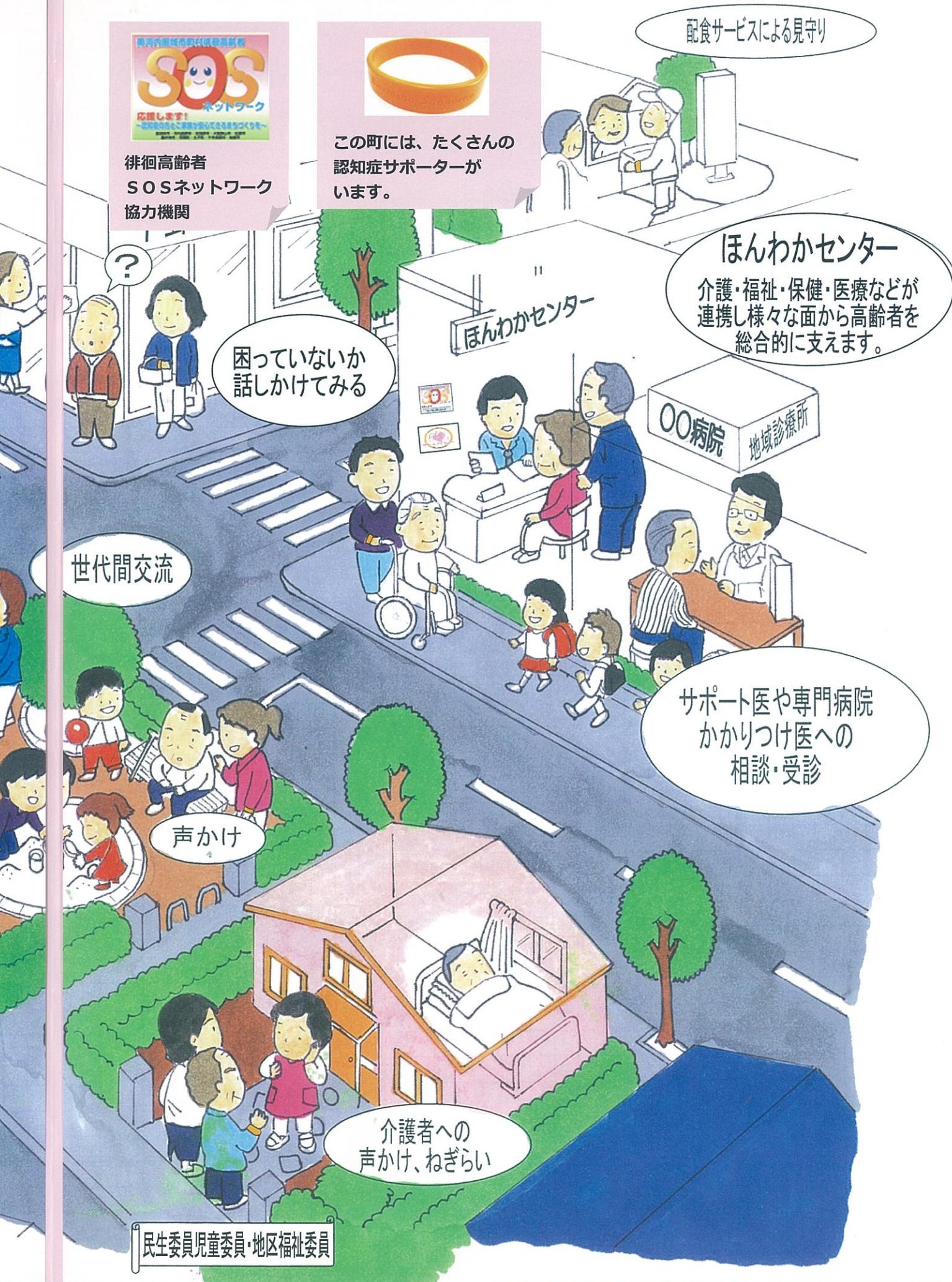
作成
富田林市
ほんわかセンター

監修
富田林医師会

認知症になつても 笑顔で暮らせる 富田林



富田林市では、
M みんな
E 笑顔と
E 笑顔で
T 手をつなごう
「MEET★富田林」を
スローガンに認知症普及啓発
に取り組んでいます。



認知症の人の気持ちはどうでしょう・・・



●認知症になると、もの忘れや不安な気持ちが強くなり、大切な物を見つけられず、一番身近な人を疑ってしまうことがあります。

では、どのように接すればいいのでしょうか・・・。

⇒5ページ「どう接すればいいの？」

元気がなくなり、引っ越し思案になったとき・・・



●“出かけたい気持ち”より“不安”が強くなります。自宅にこもった生活が長くなると、それだけ不安感や孤独感が大きくなります。

では、どのような支援があるのでしょうか・・・。

⇒6ページ 地域のあたたかい見守りの輪

わたしたちにできることって どう接すればいいの・・・



●ひとつの行動に対してどうしても時間がかかってしまいます。
「早くして欲しいのに」とつい出てしまいそうな言葉・・・

では、何か良い方法はないでしょうか・・・。

⇒7ページ さまざまな取り組みを行っています！

認知症になつても、いつも心は豊かに生きています

どう接すればいいの？



認知症になつたら「なにもわからなくなる」ではありません。
記憶が途切れることはあります、たのしいこと、うれしい気持ちは
ずっと心に残ります。嫌な気持ちは尾を引きます。
もし、あなたが認知症になつたらどんなふうに接してほしいですか？

やさしい声かけほど効果のあるものはありません



- 認知症になると不安感や孤独感にさいなまれ、心を許している相手に何度も同じことを言ったり、責めてしまったりすることがあります。ただ、言葉かけひとつで安心し、一緒に行動することで安心されます。これほど認知症の人にとってうれしいことはありません。

地域の人の手助けがあれば、安心して生活できます



- 不安と緊張が重なれば重なるほど、できることもできなくなってしまいます。周囲のイライラも感じやすくなります。地域の人人が少しだけ『お手伝い』をすることで、安心して生活することができます。
- 小さなお手伝いでも認知症の人にとっては大きな支えになります。

地域のあたたかい見守りの輪



地域には認知症に悩む方がたくさんいます。
平成24年の認知症高齢者（厚労省推計）は全国で305万人。
65歳以上人口の約10%を占め、高齢化の進行とともに
今後も速いペースで増加が見込まれています。



かかりつけ医

笑顔れんらく帳などを活用し、
ほんわかセンターや関係機関と連携しながら、地域で生活されている認知症の人やそのご家族をサポートしています。

また、認知症対応力向上研修を行うことで、認知症の早期発見・診断につなげています。



老人会・自治会

昔はあったご近所付き合い。
おっしゃかいかも知れないけれど・・・
勇気を出して声をかけてみましょう。

地域のお店

あのお客様、毎日同じ商品を買っていく・・・。

お金の払い方も分からぬようだし・・・。

温かい気づきの目が一人でも増える様に、地域のお店に向けて認知症サポーター養成講座を行っています。



認知症になつても
富田林で
住み慣れた地域で
暮らしたい！



民生委員・児童委員

高齢者世帯や一人暮らしの高齢者などのお宅を訪問し、安否確認や相談に対応しています。

必要な際は、ほんわかセンターと協働し地域一丸となって支援しています。



地区福祉委員

地域からの孤立を防ぐため、サロン等を開催し認知症の人呼びかけ、たくさんの方と交流の機会を設けています。

ぼっちら教室（介護予防教室）

老人会・地区福祉委員会・自治会などからの依頼を受け介護予防教室を各地域で開催しています。



さまざまな取り組みを行っています！

⇒くわしくは市高齢介護課またはお近くのほんわかセンターへお問合せください

認知症サポーター養成講座

認知症の理解と具体的な対応方法を学べる講座です。

「認知症サポーター」とは、認知症について正しい知識をもち、認知症の人と家族をあたたかく見守る応援者です。受講者には認知症サポーターの証となるオレンジリングをお渡します。

認知症サポーターが増えると、認知症の人とご家族が地域で安心して暮らしていくけるまちにつながります。

あなたの地域・学校・職場へ出張して、認知症サポーター養成講座を開催いたします。



認知症介護家族交流会

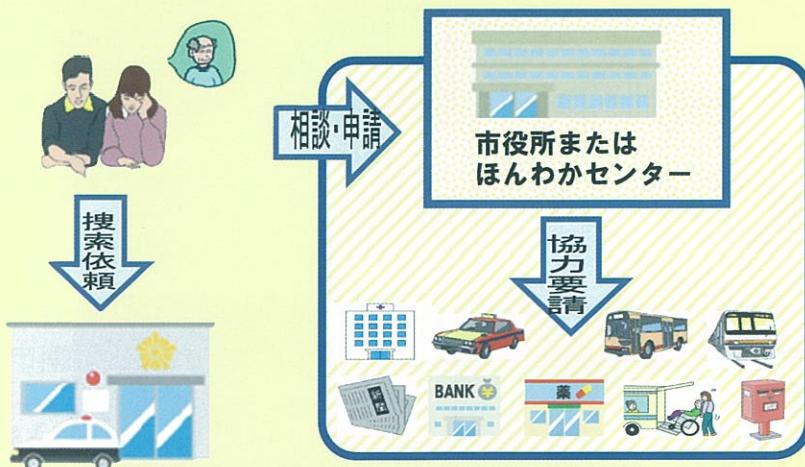
ほっとひとやみしてみませんか？

家族の介護をしている人たちが集い、悩みを分かち合いながら、ほっと一息できる場です。

がんばっていること、尋ねてみたいことなど一人で悩まないで、同じ立場の仲間と話して、介護のヒントにしてみませんか？



徘徊高齢者SOSネットワーク



徘徊高齢者SOSネットワーク事業を実施し、徘徊高齢者などの早期発見や身元不明者の早期確認に向けて、交通・金融・医療機関・介護事業者などの協力を得ながら、認知症の人やその家族が安心して暮らせるまちづくりを目指しています。

こんなことはありませんか？

ほんわかセンター
(富田林市地域包括支援センターの愛称) が窓口です。

相談

- ・高齢になりこれから的生活の事が心配。
- ・最近、今までどおりの生活ができなくなった。どうしよう。
- ・介護に疲れてしまった。どうしたら……。
- ・少しもの忘れが出てきたようで不安があります。

権利

- ・詐欺にあったかも・・
- ・隣の家のおばあちゃん、よく怒鳴られて、顔にあざができている・・ひょっとして虐待かしら？
- ・認知症との診断を受けた。これから自分のお金等管理していくかしら・・・

予防

- ・自分でできない日常生活の動作の支援をしてもらって、これからも自立した生活を送っていきたい。
- ・元気なうちから参加できる、介護予防のための教室はないかしら。

連携

身体の状態や、介護する状況が変わっても、住み慣れた地域で暮らせるように、関係機関や地域のさまざまな社会資源との連携や調整を行っていきます。

まずは、ご相談ください。

第1ほんわかセンター

喜志中学校・第一中学校区担当
富田林市役所 高齢介護課
富田林市常盤町1-1

0721-25-1000

第2ほんわかセンター

第二・第三中学校区担当
富田林市社会福祉協議会（市立コミュニティーセンター かがりの郷内）
富田林市南大伴町4-4-1 **0721-25-8205**

第3ほんわかセンター

金剛・葛城・藤陽・明治池中学校区担当
富田林市福祉公社（けあぱる内）
富田林市向陽台1-4-30 **0721-28-8500**

もの忘れ相談窓口
場所：総合福祉会館

相談日：毎月第2水曜日
時間：13:30～16:00
(ほんわかセンターの保健師や看護師が相談をお受けします)

相談日以外の問い合わせやご相談は、お近くのほんわかセンターまでお電話下さい。